

# 中国人，台湾人と日本人の生活習慣の違い

*Difference of Chinese, Taiwanese, Japanese Lifestyle*

山岡 信立  
Nobutatsu YAMAOKA

Taiwan Taiyo Yuden Co., Ltd. President

問合せ/ヤマオカ ノブタツ No.15, Lane91, Sec.1 Nei-hu road, Taipei, TAIWAN R.O.C  
E-mail/n-yamaoka@jty.yuden.co.jp

近年，中国や台湾等中華圏に対する関心が高くマスコミ等では中国や台湾の報道が毎日の様に聞かれます。2002年の中国のGDPは7.8%，台湾が2.3%，2003年は中国が7.5%，台湾が3.3%の予測に成っておりSARSの影響が懸念されていますが特に中国は高い成長が見込まれています。その原動力は勤勉で安価な労働力，優秀な人材を求めて世界の企業が中国に進出し工場や開発拠点を設けて活動していることです。本誌を購読されている読者の中にも中国で活躍されている方や今後中華圏で活躍を期待されている方が大勢おられることと思います。私たち日本人が中国や台湾等中華圏で現地人と共に仕事をするためには中国文化と日本文化の違いを知ることが大切です。駐在してみると単に言葉の違いだけでなく生活習慣の違いや人の気質，更にはそれが仕事に影響を与えている部分などが強く感じられます。

今回の企画は中国で活躍されている異種分野の人達に「中国見たまま，聞いたまま」を寄稿して頂き読者の参考に提供する試みです。本稿では台湾や上海で生活して感じた生活習慣の違いについて台湾を主体に述べてみたいと思います。本稿で述べられることは全てが必ずしも普遍的なものではありませんが，良くも悪くも「中国見たまま，聞いたまま」でまとめて見ました。

## 1 一般生活習慣

- 挨拶は通常するが，後日礼を言わない。これは次に催促している風に採られるからだそうです。時間を厳守する習慣がなく会議など時間に遅れることが多い。中国では飛行機の国内線で間引き運転は簡単に起こります。理由なんて説明は有りませんが飛行機の問題より乗客が少ない時ではないかと想像しています。さすがに国際線では間引き運転はありません。
- 家族意識が強い。家族親族の信頼感が強い分他人は信頼感が薄い様です。若い夫婦は共稼ぎが多く子供は祖母，祖父に見てもらって居るケースが多い。又都会では夫婦は外食が多く妻は家庭料理を余り作らない。上海市では伝統的に料理は男の仕事だったそうですが，40歳以下の若者はこれにこだわっていません。
- 色は赤がお目出度い色で白は逆です。新聞などで景気観察を色で表示する時，赤は景気が良く青は余り良くないことを意味しており日本人の感覚と異なり戸惑うことがあります。
- 贈り物は置き時計，掛け時計は贈らないこと。ハンカチや傘，靴も良くありません。病気見舞いに花は避けたほうが無難です。しかしお土産や贈り物は

## 連載

ビジネスを円滑にする上で必要です。

5. 食事などは家庭やレストランで接待するとき量は多めに出てきます。お酒を飲むときはお互い目が合ったタイミングで乾杯と言って相手と飲みますが乾杯は文字通り空にすることで空の状態を相手に見せる習慣です。最近では随意といって少量飲むことも出来るように成りました。日本人のお流れ頂戴方式、韓国のどうぞ杯を受けてください方式とは異なり共に飲もう方式と言うのでしょうか。座席は入り口から奥側が上座です。又お皿を引くのが早いのでヨン（用）又はヤオ（要）の言葉を覚えておくペースを乱されないで食事出来ます。食事している時中国人は箸渡しを気にしない。日本ではお骨拾いを連想してしまいます。又中国人はテーブルを汚すがテーブルに落ちた食料を拾わないです。
6. 庶民の足は台湾人がオートバイ、中国人は自転車が多い。中国の田舎（蘇州、東莞）ではオートバイタクシーがある。都市部ではタクシーは不自由しません。自動車の運転は荒く台湾の方が良い。中国では人間より自動車の方が威張っているので交差点や道路横断には十分注意が必要です。中国では汽車は欧州のように事前に出発、停車の合図がない場合があるので注意が必要です。
7. バレンタインの2月14日に男は女性に花を、女性は男性にチョコレートをプレゼントします。日本人の様に3月に男性から女性にお返しする習慣などありません。

## 2 台湾人、中国人の気質

1. 自己中心的で家庭を大切にす。冒険心に富み失敗を恐れない人が多い。個人では成果を出すチームだと期待する成果が出ない場合が多い。台湾の既婚者は夜10時頃奥さんから電話が来ます。単身出張では亭主が一日一回家族に電話をしている人が多い。出向者になると国際電話の費用が馬鹿に成らないと思う。
2. 独立心が強く Network 社会の源泉と成っています。会社の統廃合に対して基本的に抵抗が少ないと思います。
3. 面子を非常に重んじる。従って自分に非を認めず言い訳も多い。
4. 台湾人は勝負事が大好き、マージャン、宝くじ等大

好き。台湾の宝くじ（樂透彩）など2億NT\$（約7億円）当たった人が居ます。出稼ぎのタイ人女性が1億NT\$ 当り話題になったことが有りました。香港人、中国人は皆マージャンが好きです。

5. 台湾人は比較的合理的な考え方をするが一方で曖昧さを持っている。時間を守らない。結婚式の参加人数を数えない。AQL 的考え方等等。光 Disk 等不良があれば交換すると言った条件で店で販売しています。問題の所在もトコトン突き詰めて考えない人が多い。
6. 中国人が北京語で会話をしていると日本人には喧嘩しているように聞こえる時があるが本人たちは普通に会話している。
7. 終身雇用の概念がなく転職が多い。自分の利益が主体で行動するが意欲は高い。上海市で働く日系飲食店の小姐さんたち、六ヶ月の経つと日本語の会話がお客と上手ではないが出来るようになってくる。
8. プレゼンテーションは上手であるが創造性は苦手な人が多い。

## 3 体験例

### 1. 食堂にて

お客を接待する高級レストランではほぼ日本の中華料理店のコース料理を注文して食事をする感覚ですが、一人でいわゆる食堂と称するレストランで食事をする場合、注文した料理は先ず順番に料理が出てこない。料理した順と言うか、全部いっしょに出て来ると言った具合で戸惑うことが多い。例えば、野菜サラダ、オニオンスープ、海鮮スパゲティを注文したら海鮮スパゲティがきてスープがきてサラダが来たって可笑しくありません。又、三品が時間差なしに次々出てきても可笑しくありません。サラダ、スープ、スパゲティの順で食べたい時はそのようにはっきり注文することが必要です。又、レストランでは客が料理を食べているのを店員が見ていて食べ終わるか終わらないうちに取り皿を引きに来ます。中国語で「好いか」と一応聞きますが、駄目とはっきり言わないとさっさと引かれて、残念もう少し食べたかったと思っても後の祭りです。回転率を上げて利益を上げていると勘ぐりたくなる様な例が多いです。カラオケバーの女性はテーブルチャージ制とチップ制になっている店があり注

意が必要です。

## 2. 冠婚葬祭

結婚式に招待されることがあると思います。結婚式では夕方 6 時半開始なのに始まりが 7 時から 7 時半になるのは通常で、6 時半に始まることは先ず有りません。台湾では一般に一応お客が席に着いた頃、来賓挨拶や親族挨拶もなく専属歌手の司会が適当に始めます。新郎新婦が頃合に各テーブルに家族と挨拶にやって来てお客さんと乾杯するだけです。終わりの挨拶も無く流れ解散が多いです。又少ないですが日本と同じように来賓が挨拶し新郎新婦と家族が各テーブルを回り乾杯をする披露宴もありました。最近色々バラエティーに富んだ結婚披露宴が行なわれているようです。お祝いは偶数値、例えば 5200NT\$ と包む。お葬式は逆に奇数値で包む習慣です。結婚式のお祝いは赤、葬式は白で包みます。台湾の例で若くして再婚した場合（前の奥さんと別れて再婚）再婚側の親戚や友人が招待されていなかったケースがあり、そんな事を知らない小生が後で彼の会社の友人に「何故来なかったの？君達はちょっと冷たいのでは・・・」と云って彼等から猛烈な反発を喰らったことがありました。台湾では結婚式には大概専属歌手がきて歌を歌い披露宴を盛上げてくれます。台湾の田舎での結婚式の宴会でストリップ Show が始まり、若い美人の小姐が各テーブルを回りサービスしているとき適当な小銭がなく 1000NT\$ を Chip として出していたお客が居たりして驚いたことがありました。台湾で聞いた話ですが過去に 80 歳以上の人の葬式でも同様の Show が有ったそうです。日本人の感覚ではとても理解出来ません。上海地域では日

本に似ていて結婚式の挨拶があり、新郎新婦がお客一人一人とお酒で乾杯して親睦とお祝いをします。又結婚式の宴会に歌手がくる事は有りません。まして Strip ショウなんて有りません。

会社（台湾）の元幹部の台湾人が無くなったのでお悔やみに家族の家に行った時その祭壇が赤い布で有ったので聞いたところ 80 歳以上生きていた人はおめでたいのだそうです。斎場で葬式の時黒の礼装で黒ネクタイは必要なく、一般客は地味目のスーツに受け付けで渡された小さな黄色の造花をピンで付けているだけです。祭壇の上の方には文字幕が多く掛けられていて末尾には必ずといって良いほど族繁と書いてあります。上海では葬式は黒や紺系のスーツで黒のネクタイだそうです。又日本では会葬者は霊前で線香を上げますが台湾では華、線香（場所により更に酒、果物）を順に会葬者が霊前に上げます。上海では黄色い花を持ってきて霊前にあげるだけで終了後レストランに行って食事をするのが普通と聞いています。台湾でお金持ちの葬式は吹奏楽を先頭に町を行進している隊形を目にしますが上海ではこうした風習は無いようです。このように福建省の流れを汲む台湾と華中の大都市上海では風習が大きく異なっています。

以上、台湾を中心に上海を見たまま聞いたままと記載してみました。実際には色々なことで日本人とは思考パターンが異なることが多いです。少し旅行案内風に成ってしまいましたが参考になれば幸いです。現在、台湾、中国共に SARS の脅威から一段落し再び活気が戻ってきました。出向者の皆さんは多忙な毎日を過ごしておられる事と思います。